

乳がんの放射線治療 再発の予防のために



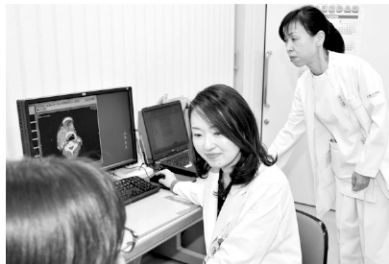
徳島大学病院
放射線治療科 助教

くろべ あきこ
久保 亜貴子 氏

乳がんの手術は、

患側の乳房をすべ

て切除する「乳房切除術」とがん病巣の部分だけを切除して乳房を残す「乳房部分切除術」の2つに分けられます。乳房温存療法は乳房内の肉眼的病巣を外科的に切除し、残った乳腺内の乳管内進展や微小残存病巣は放射線で治療することで再発を予防する治療法のことです。乳房部分切除術とその他の放射線治療がセットで行われます。放射線治療は部分切除術後に6週間程度、週5日毎日通院していただきますが、1回の治療時間は数分です。治療中の副作用には日焼けをしたように乳房の皮膚が赤くなる皮膚炎があります。治療終了後1ヶ月位で改善します。放射線治療はがんを切らずに治す、人にやさしい治療です。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ がん診療連携センター: Tel.088-633-7312
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



がん相談支援センター

相談窓口 Tel.088-633-9438

徳島がん対策センター

<http://www.toku-gantaisaku.jp>